



FX EDGEブリッジ/FX EDGE III-8ブリッジ

FX EDGEブリッジ/FX EDGE III-8ブリッジは、IbanezのLo-Pro Edgeトレモロ、EDGE IIIトレモロをベースに開発されたロックングタイプのフィクスト・ブリッジです。2本のメインスタッドに加え、ベースプレート後方にもスタッドを設け、合計3本のスタッド・ボルトでブリッジ本体を支持する構造としました。この構造がブリッジ全体の不要なガタつきや振動を防止し、弦振動をより効率的にボディへ伝えることを可能にしています。

弦高調整

3本のスタッド・ボルトすべてを回して、ブリッジ全体の高さを調整します（各弦の調整は行いません）。最初にメインスタッド(Fig. 1 A)をドライバーやコインで調整した後、六角レンチ(3mm)でリアスタッド(Fig. 1 B)を回し、ブリッジ全体がギターボディとおおよそ平行(Fig. 2)になるように調整します。

⚠️ ご注意

メインスタッド 1/2 回転で、おおよそ弦高は0.3mm~0.5mm変化します。弦高調整は3本のスタッドボルトを少しずつ回すことを繰り返して行ってください。リアスタッドの調整によっても弦高が変化します。最終的な弦高は、リアスタッドの調整後に今一度確認をしてください。

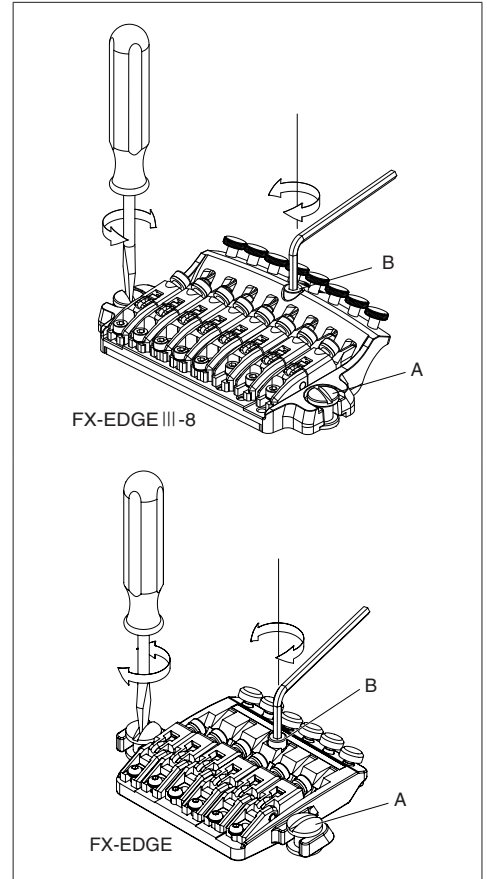


Fig. 1

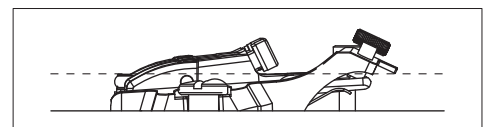


Fig. 2

イントネーション調整

ロッキング・ナットのプレッシャー・パッド・ボルト(Fig. 4 F)を六角レンチ(3mm)で緩め、十分に弦を緩めます。サドル・ロック・ボルトを六角レンチ(2mm)で緩め(Fig. 3 D)、サドル位置を調整します。サドル・ロック・ボルト(Fig. 3 D)をしっかりと締め、チューニングを行ってからイントネーションを確認します。正しいイントネーションが得られるまで同じ調整を繰り返した後、ロッキング・ナットのプレッシャー・パッド・ボルト(Fig. 4 F)を締めてください。

⚠️ ご注意

サドル・ロック・ボルトを緩めるときにはかならず十分に弦を緩めてから調整を行ってください。

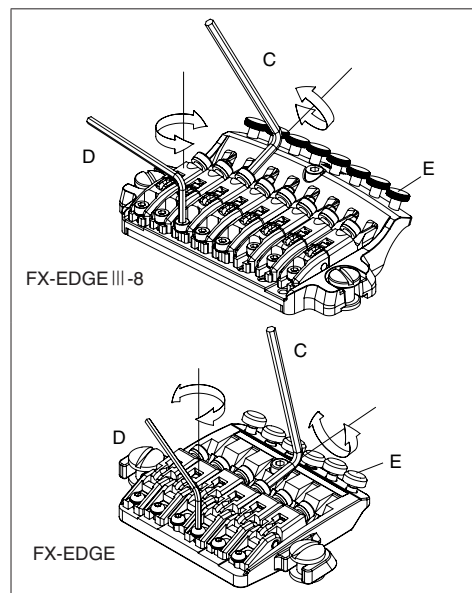


Fig. 3

弦交換

ロッキング・ナットのプレッシャー・パッド・ボルト(Fig. 4 F)を六角レンチ(3mm)で緩め、糸巻きから弦を取り外します。トレモロ本体のSTRING・STOPPER・ボルト(Fig. 3 C)を六角レンチ(3mm)で緩め、サドルから弦を引き抜いて取り外します。新しい弦は先端のボールエンド部分をニッパー等で切り落とします(Fig. 5)。ボールエンド部を切り落とした側の弦の先端をサドルとSTRING・ホルダー・ブロックの間に挿入し、STRING・STOPPER・ボルトを締めて弦を固定してください。糸巻きで弦を巻き上げ、チューニングを行います。チューニングが完了した後、ロッキング・ナットのプレッシャー・パッド・ボルトを締めてください。

⚠️ ご注意

チューニングする前に、STRING・STOPPER・ボルトがしっかりと締め付けられていることを確認してください。

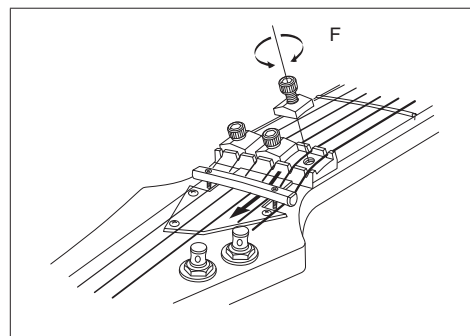


Fig. 4

ファイン・チューニング

ロッキング・ナットで弦をロックした後でも、ファイン・チューナーによって各弦のチューニングの微調整が行えます。チューニングの前に、あらかじめすべてのファイン・チューナー(Fig. 3 E)を可動範囲の中央付近に調整しておく、弦をロックした後の調整幅を広く持たせることができます。

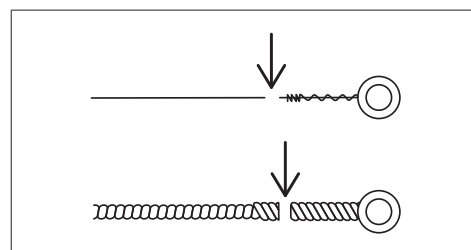


Fig. 5